

たまかわ

1998

3

No.379

空と緑`新、呼吸する——広報TAMAKAWA



ダンシング・ナイト

金曜日の夜、保健センター2階に楽しく踊る人影がありました。

右、左に軽快なリズムで動く皆さんの顔には、汗がビッショリ。

(エアロビクスクラブ練習風景より)

表3 生産の態様

⑦実績算入	⑥土地改良 通年施行	⑤自己安全管理	④多面的 機能水田	③水田 預託	②調整 水田	①転 作	生産調整の態様	内 容	
	水田を稲作以外の用途に利用すること又はこれに準ずることであって、転作等として取り扱ふことが適当とされるもの（定着除外及び加工用米生産を含む） ●水稲について直接ほ場では種を行う栽培方法又は科学合成資材を使用しない栽培方法（減収分をカウント） ●対象水田が災害により水稲の作付が不可能な場合	水田を常に耕作可能な状態に管理すること	景観形成、国土環境保全等水田の多面的機能が発揮されるような状態に利用・管理すること ●景観形成作物（れんげ等）の作付け ●レクリエーション農園	転作を目的として水田を農業協同組合等に預託すること	水田に水を張り常に水稲の生産力が維持される状態に管理すること（いわゆる水張り水田）	イ、水田の転換畑、林地、養魚池、養魚水田、施設園芸用施設の設置に係る土地、農業生産に必要な施設の敷地への転換	ア、麦、大豆、野菜、果樹等の作付		

生産調整の態様

五平「転作だけじゃないのかあ〜」
 平成10年度緊急生産調整推進対策の事業の種類は、次の表3のとおりです。一般的には、稲作の代

コメの生産調整

井戸掘りの転作を知りたい
五平の



なぜ？自由にコメが作れないの

五平 「どうして米をたくさん作っちゃいけないんだい？」
 役人 「五平さん、農業者がみんなたくさん米を作るとどうなりますか。米の量が増えちゃうでしょう。そうすると米の価格が安くなりますよね。」
 五平 「米の価格を安定させるのに転作をするのか？」
 役人 「そうですね。また、農業者が米だけに頼らないで他の作物からも所得を上げることを推進するためにも転作は重要なんですよ。」
 五平 「転作するとその他にも何かいいことがないの？」
 役人 「転作をすると助成金制度があります。また、田圃などの整備や機械を導入するための補助制度などがあります。まあ、これらの事業を正式には『緊急生産調整推進対策』というんですよ。」
 五平 「あぁ〜難しくなってきた。」
 役人 「そんなことはありません。少しずつ順序を追って説明させてください。」



玉川村は 面積172.48ha
 平成10年度の村の配分面積は一七・二・四八ヘクタールになります。
 この面積は、前年度に比べて約六〇ヘクタールの増量となりました。また、村全体の水田面積が約五〇二・一ヘクタールですから、全体の34.4%が配分面積となっています。

生産調整目標配分面積



五平のちよっとタイム
 五平 「お役人さん、俺家の配分面積とかいうものは、どうやって決まるの？」
 役人 「平成10年度の水稲共済細目書の水田面積は、五平さん家はどれくらいですか？」
 五平 「ちよっと一町歩だな」
 役人 「それじゃ、1haの34.4%だから、34.4aが配分面積となりますね。」

表4 推進地区別配分一覧表

推進地区名	農家数(戸)	対象水田面積(m ²)	生産調整配分面積		
			※加工米換算面積は生産調整配分面積の内数(m ²)	袋数	換算面積(m ²)
川 辺	130	1,017,377	349,978	296	18,617
藤 生	22	116,946	40,229	34	2,140
小 高	104	456,500	157,036	133	8,354
中	58	402,016	138,293	117	7,357
岩 法 寺	63	465,200	160,029	136	8,513
竜 崎	99	536,606	184,592	156	9,820
南 須 釜	89	379,527	130,557	107	6,945
南 宿	54	252,592	86,892	72	4,622
北須釜東部	56	271,067	93,247	77	4,961
北須釜西部	56	233,436	80,301	66	4,272
吉	57	308,636	106,170	87	5,648
山 小 屋	43	238,116	81,911	67	4,358
四 辻 新 田	25	160,125	55,083	45	2,930
大 井 沢	13	92,951	31,975	27	1,701
高 井 沢	18	89,537	30,801	26	1,639
玉 川 村	887	5,020,632	1,727,094	1,446	91,877

図1

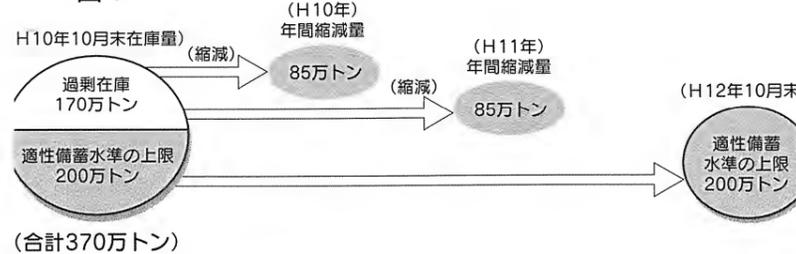


図2

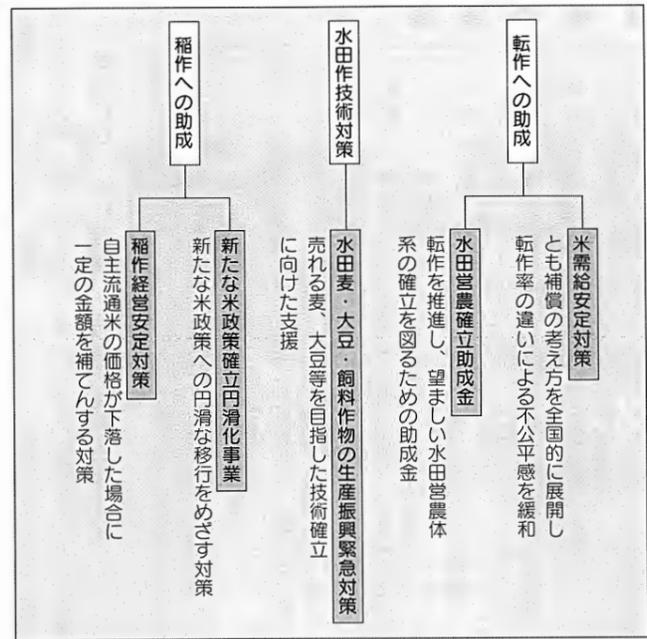
区 分	全 国	福 島 県	玉 川 村
平成10年生産調整対象水田面積	963,000ha	36,229ha	172.48ha
加工米生産予定面積	—	2,166ha (10,213,950玄米kg)	9.18ha (43,380玄米kg)

生産調整の規模は
 ●米の在庫縮減
 平成10年10月末の国産米持越在庫量が三七〇万トンに達することが見込まれています。これを適性備蓄水準の上限である二〇〇万トンにすることを目指して、2年間かけて在庫を一七〇万トン縮減するよう取り組んでいます。
 ●生産調整目標面積
 平成10年度に必要な生産調整面積は、九六万三千ヘクタール（現行対策に比べて一七万六千ヘクタール拡大）になります。（図2参照）
 なお、目標面積については、毎年の需給・価格動向等を踏まえて、毎年適切な見直しを行うことにしています。

特集

生産調整実施者へのメリット

生産調整を実施した場合に、次のような利点があります。次の表をご覧ください。



五平 「俺はいくらお金を出せばいいの？」

役人 「10 a 当たり国へ三千円、村へ二千円の合計五千円になります」

五平 「補償金は、どれくらい貰えるの？」

役人 「一般作物転作だと10 a 当たり国から二万五千円と超過達成面積に対して村からの補償金があります。」

五平 「『新たな米政策確立円滑化事業』つうのはどんなことなんだい？」

役人 「平成10年度、生産調整に一生懸命取り組む意欲のある生産者には、前年度の自主流通米の出荷数量分に応じて交付金を支給するんです。」

五平 「いろいろあるんだな。最後の自主流通米の価格... というのはどんな利点があるんだい？」

役人 「自主流通米の価格が過去3年の平均価格より低い場合はその差額分を役所が補てんするんですよ。」

五平 「これら利点は、少しでも生産調整を実施すれば受けられるのかい？」

役人 「これら実施者へのメリットは、すべて生産調整を100%達成した人に対してのみですから、間違わないようにして下さい。」

五平 「最近、米の消費が減ってるんでないの？」

役人 「昭和37年には、年間一人当たり18 kg 食べていたのに平成8年には67 kg まで減少しているんです。」

五平 「パンやラーメン、肉などいろいろ食べ物豊富になったからなあ。」

役人 「生産調整と併せて、米の消費拡大することも重要なことなんです。」

平成9年度 玉川村体育協会表彰

功労者・優秀選手16名に

村体育協会表彰式は、2月27日午後7時から村就業改善センターで行われました。ゲートボール普及の功労者や各種スポーツで優秀な成績を収めた選手等16名に渡辺体育協会会長から賞状と記念品が贈られました。



平成9年度体協表彰受賞者の皆さん

表種種別	氏名	住所	種目	主な成績
1 スポーツ功労賞	首藤 芳次 (村ゲートボール協会)	中	ゲートボール	ゲートボールの育成、技能の向上に尽力
2 "	小林 富重 (村ゲートボール協会)	中	ゲートボール	ゲートボールの育成、技能の向上に尽力
3 優秀選手賞	辻 昇一 (大崎電気)	東京都(川辺)	ハンドボール	世界男子ハンドボール選手権に出場
4 "	小杉 昌毅 (福島空港JV)	岩法寺(京都)	フェンシング	全日本選手権フルレ団体優勝
5 "	関根 勝夫 (学法石川高3年)	北須釜	陸上	県高等学校駅伝競走大会第6区2位
6 "	鈴木 崇夫 (学法石川高2年)	川辺	ハンドボール	第35回県高等学校新人大会優勝
7 "	小針 修 (学法石川高2年)	中	"	"
8 "	溝井 裕美 (学法石川高3年)	小高	柔道	県高校総合体育大会女子団体優勝。向東北大会3位

表彰種別	氏名	住所	種目	主な成績
9 優秀選手賞	大竹 勝巳 (清陵情報高3年)	川辺	空手道	県高校総合体育大会空手道競技男子団体組手3位
10 "	石井 清剛 (清陵情報高3年)	竜崎	野球	第79回全国高校野球選手権大会準決勝進出
11 "	矢部 淳 (須賀川高3年)	川辺	サッカー	第43回県高校体育大会サッカー競技第2位
12 "	我妻由香利 (須賀川高2年)	南須釜	卓球	県高校体育大会県南大会及び高校新人県南大会団体優勝、ダブルス優勝
13 "	小針 匠 (玉一小5年)	中	剣道	剣道連盟石川支部小学5年生の部個人優勝
14 "	佐藤 友哉 (玉一小6年)	小高	剣道	剣道連盟石川支部小学6年生の部個人優勝、平田村大会個人優勝
15 "	小針 周吉 (玉川少年剣友会代表)	中	剣道	剣道連盟石川支部大会団体優勝、玉川村大会、平田村大会団体準優勝
16 "	車田 美幸 (須賀川高3年)	小高	家庭バレーボール	平成8、9年度県民スポーツ大会石川地区大会連続優勝

第4回

よい歯のコンクール

平成9年度第4回「よい歯のコンクール」の表彰式は、1月23日(金)に村保健センターで行われ、次の子どもたちが表彰されました。(敬称略)



佐藤 美樹 (川辺・晃)

白旗 美希 (川辺・敏明)

須藤 勇登 (川辺・登)

野崎 慶太郎 (川辺・忠志)

石森 直喜 (山小屋・峰夫)

石森 弘晃 (山小屋・長治)

上野 絵海 (竜崎・真次)

江尻 愛由美 (竜崎・昭男)

滝川 彩加 (竜崎・昌宏)

添田 愛美 (小高・藤夫)

未来に向けて

水田農業の展望を拓こう

自分たちの子供や孫に受け継いでもらう農村を築き、農業の活性化を図るためには、集落座談会などでの話し合いが重要な取り組みの第一歩となります。農家の皆様のご理解と協力で、未来に向けて水田農業の活路を拓きましよう。



米の

消費拡大を

五平 「最近、米の消費が減ってるんでないの？」

役人 「昭和37年には、年間一人当たり18 kg 食べていたのに平成8年には67 kg まで減少しているんです。」

五平 「パンやラーメン、肉などいろいろ食べ物豊富になったからなあ。」

役人 「生産調整と併せて、米の消費拡大することも重要なことなんです。」

春の交通安全運動 4/6~4/15

「うんてんしゃさん ちいさなぼくが みえますか？」



春の全国交通安全運動は、4月6日から15日までの10日間行われます。「うんてんしゃさん、ちいさなぼくが みえますか？」を運動スローガンに、本村でも交通対策協議会や安全協会などの団体が中心となって各種活動を展開します。

- ### 運動の重点
- 子どもと高齢者の交通事故防止
 - シートベルトの着用の徹底
 - 自転車利用者のマナーアップ

村の取組活動

- 本村では、交通安全団体が協力して次の取組みが計画されています。
- 保育所、幼稚園、小学校の新入園、入学児童に交通安全帽子(黄色の帽子)と安全用鈴の配布
 - 交通安全啓蒙チラシの全戸配布
 - 防災無線での広報
 - 広報車での広報
 - 街頭指導の実施
 - 児童への教本の配布

交通安全は家庭から

決まりきった言葉かも知れませんが「交通安全について家族で話し合う機会を持つこと」は、とても重要なことだと思います。期間中に家族で交通安全について話し合ってみてはいかがでしょうか。

「もうすぐ1年生、楽しみだなぁ」。新しいランドセルを背負って小学校に行くのを心待ちにしていると思います。本年4月、村内の小学校に入学する児童は、昨年より2名少ない86名です。名前が漏れていたたり、間違っている場合には村教育委員会(☎五七―四六三三)までご連絡をお願いします。

川辺小学校	児童氏名	保護者名
13人	鈴木 貴之	重治
	佐藤 宏樹	晃
	吉田 拓磨	健次
	坂本 涉	輝雄
	土屋 優作	博志
	野崎 夏美	隆
	須藤 千晶	一郎
	大竹 由利絵	勝重
	大竹 眸美	吉夫
	矢部 麻衣	禎
	小針 未咲	利男
	白旗 愛美	登志夫
	原 舞唯	美由紀
玉川第一小学校	児童氏名	保護者名
45人	小林 昭範	和寿

小針 隆太	小針 淳良	関根 光聡	佐藤 聡弘	湯澤 亮匠	高橋 二聡	小針 雅史	関根 尚樹
小針 隆太	小針 淳良	関根 光聡	佐藤 聡弘	湯澤 亮匠	高橋 二聡	小針 雅史	関根 尚樹

小針 由実	真弓 美香	三輪 葉月	溝井 里奈	溝井 伶奈	車田 美香	大木 夏美	松高 弘奈
小針 由実	真弓 美香	三輪 葉月	溝井 里奈	溝井 伶奈	車田 美香	大木 夏美	松高 弘奈

宗形 賢介	宗形 賢介	大竹 さくら	岡部 晴菜	車田 美希	江尻 美楓
宗形 賢介	宗形 賢介	大竹 さくら	岡部 晴菜	車田 美希	江尻 美楓

石森 恵子	石森 瑞穂	石森 美穂	宗形 早苗	宗形 美咲	大野 美里	阿部 未歩	杉山 春花	石森 由華	小針 望美	瀬谷 翔悟	真野 剛幸	大野 佑介	塩澤 誠一	佐久間 賢太	石森 剛	柳枝 勝好	相楽 裕紀	大和田 憲哉	馬場 涉	大野 裕也	草野 裕明
石森 恵子	石森 瑞穂	石森 美穂	宗形 早苗	宗形 美咲	大野 美里	阿部 未歩	杉山 春花	石森 由華	小針 望美	瀬谷 翔悟	真野 剛幸	大野 佑介	塩澤 誠一	佐久間 賢太	石森 剛	柳枝 勝好	相楽 裕紀	大和田 憲哉	馬場 涉	大野 裕也	草野 裕明

平成10年度 新入学児童は 86人です



三輪 健太	小林 寛太	小林 隆宏	吉田 開一	車田 勇太	車田 太	曲山 圭一	岡部 孝三
三輪 健太	小林 寛太	小林 隆宏	吉田 開一	車田 勇太	車田 太	曲山 圭一	岡部 孝三

矢吹 瞳	真弓 紀美	小林 成美	村越 るか	白川 春菜	富澤 俊介	五十嵐 和也	岡部 貴紀
矢吹 瞳	真弓 紀美	小林 成美	村越 るか	白川 春菜	富澤 俊介	五十嵐 和也	岡部 貴紀

関根 希	湯澤 麻衣	石井 裕美	根本 莉子	関根 聡子	近内 沙耶佳	佐藤 秀美	佐久間 惠梨
関根 希	湯澤 麻衣	石井 裕美	根本 莉子	関根 聡子	近内 沙耶佳	佐藤 秀美	佐久間 惠梨

石森 剛	石森 賢太																				
石森 剛	石森 賢太																				

愛の献血を ありがとう

去る1月21日(水)に村内3箇所献血を実施したところ、次の48名の方からご協力をいただきました。あなたの愛の献血に感謝いたします。(敬称略)

- ◆JAあぶくま石川須釜支店前(2名) 片寄富士美・関根さゆり
- ◆中根精工(株)(17名) 浅香照雄・石森昌興・大川内忠雄・大川内文江・大竹茂・草野直幸・小原ミヤ子・関根さゆり

愛の献血にご協力を

安全性の高い輸血用血液を確保するため、問診等が厳しくなつたために献血離れが進んでいます。献血は、誰もができる身近なボランティアです。

- 第3回 10月29日(木)
 - 第4回 平成11年1月20日(水)
- どうぞ愛の献血にご協力をお願いします。





**いすみ幼稚園
卒園作品が完成**

いすみ幼稚園(水野岩雄園長)では、卒園児童57名が卒園を記念して制作した作品(看板)が完成しました。
ひな祭りのこの日にお披露目が行われました。この看板は、園入口のフェンスに取り付けられたこととなります。

3/3

2/1 白銀に招かれて

スキーを通じて村民の親睦を図ることを目的にしたスキー教室が、磐梯国際スキー場で行われました。教室には、46名が参加して、玉川スキークラブ員が指導を行いました。



2/19 行政相談員をもっとPR

行政相談制度について、本村の相談員である真野目喜正さんと行政監察事務所の職員、それと村内の行政関係機関の役員を交えての懇談会が行われました。
懇談では、相談員の存在をもっとPRしてゆくことが確認されました。



報告する馬上さん(右から2人目)

2/10 のど自慢 優勝者 馬上さんが来庁

NHKのど自慢大会で優勝した馬上勇さん(南須釜)が役場を訪問し、車田村長に優勝と3月14日に東京のNHKホールで開かれる全国大会出場を報告を行いました。車田村長は、全国大会での健闘を願って村からの激励金を贈りました。また、馬上さんの勤務先の水谷工業(石川町)の水谷社長と緑川営業所長も同行しました。

2/14 玉川地安会

大竹会長が出版

青少年非行防止を目的としたボランティアグループ「玉川地安会」の大竹勝義会長(岩法寺)は、青少年の健全育成について、自身の体験などをまとめた冊子「すこやかに育って」を自主出版。約50冊を村内の教育・防犯機関などに配布しました。



トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題をおまちしています—

役場総務課広報広聴係まで



3/5 子供に何を伝えますか?

村人権擁護委員会主催の講演会が村就業改善センターで行われました。講師に那須甲子自然の家所長の五十川隆夫先生を迎えて「今、大人が子供に何を伝えることが必要なのか」が話されました。全国的に子供たちの問題が討論されている時期から大勢の聴講者が訪れました。

2/22 第12回 縄跳び大会 幼児から大人まで心地よい汗

村青少年育成村民会議南須釜地区推進協議会(相楽義二会長)主催の第12回縄跳び大会は、勤労者体育センターで約250名が参加して行われました。
今年も全日本チャンピオンの斉藤仁さん(いわき市)をゲストに迎えて大会を盛り上げました。塩澤宏君(須小5年)が3,322回の大会新記録で総合優勝を飾りました。部門別の入賞者は次のとおり。
(写真提供～飯島三郎さん)



全日本チャンピオン斉藤さんの演技にみんなビックリ

- ▶幼稚園の部
1位 関根 希・2位 小針望美・3位 小針彩美
- ▶小学1年生の部
1位 塩澤祐成・2位 有賀良輔・3位 小原麻里
- ▶小学2年生の部
1位 増子雄太・2位 石森大地・3位 鈴木絵里香
- ▶小学3年生の部
1位 溝井夏美・2位 小針千佳・3位 車田康文
- ▶小学4年生の部
1位 大野正博・2位 車田理絵・3位 石森実佳
- ▶小学5年生の部
1位 塩澤 宏・2位 真野目悠太・3位 石井明菜
- ▶小学6年生の部
1位 鈴木 将・2位 鈴木啓章・3位 大川内勇太
- ▶26歳～39歳の部
1位 塩澤和彦・2位 関根さゆり・3位 車田喜子
- ▶40歳～49歳の部
1位 我妻一夫・2位 小原昭子・3位 増子正広
- ▶50歳以上の部
1位 小原嗣男・2位 有賀鶴子・3位 真野目スミ
- ▶二重跳びの部
1位 佐藤絵美・2位 大川原美佳・3位 真野目悠太

JAL大阪便 100万人達成

日本航空の大阪便の利用者が100万人を達成しました。ちょうど100万人目の方は、郡山市に住む杉安環さん(24歳)でした。杉安さんは、奥羽大学の学生。春休みの里帰りで飛行機を利用して今回の幸運を射止めました。日本航空から記念品と花束が贈呈されました。



2/24

2/18 社協役員体験訪問

社会福祉協議会役員がホームヘルパーに同行して介護活動を体験しました。白旗ミカさん(川辺)宅には、車田会長と真弓監事が同行し、会長からミカさんに花束が贈られました。ミカさんは「いつもやさしくお世話をいただいております」と喜んで話していました。



～ いずみ幼稚園のひなまつり～

3月4月の健康ごよみ

- 3月
- 19日(木) 三種混合予防接種 午後2時～
- 4月
- 8日(水) 股関節脱臼検診 午後1時30分～午後2時
 - 10日(金) 1歳6カ月児健診 午後1時～
 - 3・4カ月児健診 午後1時30分～
 - 13日(月) 献 血
 - 20日(火) 機能訓練 午前10時～
 - 22日(水) ポリオ予防接種 午後1時～

保:保健センター 須:須釜公民館
 旧石:旧石川保健所 受:受付時間

伝言板

女性のための簿記3級

就職戦線異常あり——の今日この頃でございます。こんな時だから、挑戦してみませんか？……簿記3級……この資格を武器に就職の難関を突破しましょう。事務系就職希望の女性のための技術講習会です。

内 容	平成10年6月14日実施予定の日商簿記3級合格をめざします。
期 間	平成10年4月15日～6月5日(21日間) (毎週月・水・金)
時 間	午前9時30分～午後3時30分(5時間)
会 場	郡山地域職業訓練センター(郡山商工会議所向かい)
経 費	受講料 無料 教材代 自己負担 検定料 自己負担
定 員	24名(就職希望の女性で、全期間出席出来る方)※定員超は抽選。
申込み方法	期間) 4月8日～4月10日(3日間) 時間) 午前9時～午後4時まで 場所) 郡山駅前 かの郡山駅前ビル5階 女性就業援助センターへ直接来所により TEL0249-31-1145

●もっと詳しくお知りになりたい方は
福島県女性就業援助センター
 〒960-8681 福島市杉妻町5-75
 TEL024(521)7740までどうぞ。

焼却炉購入の補助金制度廃止

村では、家庭用ゴミ焼却炉を購入する際に補助金制度を設けていましたが、ダイオキシン問題を考慮して、3月31日をもってこの制度を廃止することにいたします。



老人医療受給者証をお持ちの方へ

現在使用している老人医療受給者証は、平成10年4月1日より新しくなります。なお、詳しい更新の日時及び場所については、後日、回覧等でお知らせいたします。



自動車税はお早めに

納期限は6月1日です

自動車税は、毎年4月1日現在に自動車を所有している方に対して、5月31日を納期限として課税されます。(今年は日曜日になっているので6月1日が納期限です。)
 納税通知書は、5月中旬に送付されますので早めに納めましょう。

なお、身体障害者や精神障害者の方で、一定の条件に該当する場合には自動車税が減免される制度があります。該当する方は、次の書類を添えて5月25日までに申請してください。

- (減免申請に必要な書類等(初めて申請する場合))
- ①自動車税減免申請書(県中地方振興局県税部にあります)
 - ②身体障害者手帳、戦傷病者手帳又療育手帳
 - ③運転する方の免許証
 - ④自動車検査証
 - ⑤家族の方が運転する場合には、身障者等のために運転する旨の証明書
 - ⑥納税義務者(身障者等)の印鑑

消費税の申告と納税は三月三十一日まで

個人事業者の方の消費税及び地方消費税の確定申告と納税は三月三十一日(火)までです。正しくお早めに申告、納税してください。なお、手続き等についてお分かりにならない点がありましたら、最寄りの税務署又は税務相談室にお尋ねください。

携帯電話から119番

4月1日から運用開始

4月1日から携帯電話等からの119番通報が可能となります。今まで携帯電話、自動車電話からの119番への通報ができませんでした。4月1日からはかけられることになります。



※携帯電話は、声が聞きにくい場合がありますので、近くに公衆電話や加入電話があるときは、それらを利用してください。

平成10年度 赤坂団地分譲

県住宅供給公社では、平成10年度の赤坂団地(川辺)の住宅分譲(12区画)を次の内容で募集します。

◆受付期間 4月14日(火)から20日(月)まで

◆受付場所・時間 役場企画財政課 午前10時から午後4時まで

◆抽選日時・場所 4月23日(木) 午前10時

●玉川村就業改善センター

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ●四辻新田の野本政雪さんから 2万円 | ●川辺の矢吹英男さんから 10万円 |
| ●北須釜の草野光重さんから 5万円 | ●川辺の田子重義さんから 2万円 |
| ●南須釜の塩澤直一さんから 10万円 | ●四辻新田の溝井利一さんから 3万円 |
| ●吉の佐藤敏則さんから 1万円 | (村社会福祉協議会) |

村のようす

(10年3月1日現在)

- 1,762戸(+11)
- 7,663人(+18)
- 3,751人(+14)
- 3,912人(+4)

お誕生おめでとうございます

(2月届出分)

地 区	出生児氏名	保護者名
岩法寺	渡 辺 実 可 子	三喜男
竜 崎	緑 川 玲 央	智 幸
〃	小 林 智 弘	吉 弘
南須釜	塩 澤 和 也	和 美
〃	阿 部 淳 之 介	紀 章
〃	大 越 瑞 樹	由 紀 夫
〃	須 釜 佑 介	和 芳

おくやみ申し上げます

(2月届出分)

地 区	死亡者氏名	年 齢	世帯主名
川 辺	田 子 幸 之 助	84	重 義 克
〃	矢 吹 政 治 郎	86	政 昇
岩法寺	鈴 木 幸 子	45	敏 直
竜 崎	佐 藤 夕 子	80	春 一
南須釜	塩 澤 直 利	82	光 政
北須釜	草 野 幸 之 助	76	光 政
四辻新田	野 本 清 二	87	政 利
〃	溝 井 清 二	67	政 利

今月の納税

国民年金保険料 3月分
 【納期限は3月16日(月)です。忘れずに納めましょう。】

歌愁短歌会玉川支部詠草集

村公民館

- 地場産の工芸品も巧緻にて売らんとすなる商魂もつく
 心平のこよなく愛せし平伏沼川内村を詩の里として
 公園でデイケアの仲間の芋煮会湯気と立ちおり笑いの声も
 しなの路の名物そばのその香り惜しみてしばし蕾をみがくせず
 大名の宿場跡なる茅葺きの屋根に修理の職人が立つ
 リストラや自主廃業の暗き世に宇宙遊泳はなごみのアニメ
- 諏訪イセ子
 小針 登里
 小針 守次
 吉田 英祐
 小針 みね子
 小針 愛子

趣味の達人

◎終

『写真』

石津節男さん

今月は石津節男さん(80歳中)の写真を紹介します。石津さんと写真との出会いは、どんなきっかけだったんですか？

「神奈川県に就職した当時(昭和41年頃)会社に『写真クラブ』があって、そこに入部したのがきっかけでした。その後、5年くらい続けましたが止めました。」



「10年くらい前にNHK通信講座で1年間受講してからです。5、6年前から須賀川市にある『写団ぼたん』という愛好会に入会しました。この会の会員はとてレベルが高くて刺激されました。」

「(写真を見せてもらいなから)県内はもとより全国的なコンテストまで多数入賞されているんですね。」

「入賞して新聞などに自分の作品が載ったときはとてもうれしいです。」

「主に風景が多いですね。」

「人物は、難しいですよ。モデルの表情が固くなってしまいうし、その表情を和ませながら撮影しなければならぬから、難しいですよ。撮影する自分が緊張しすぎたりもしますからね。」

「写真は撮るときは、事前に構想を練ってから出掛けられるんですか？」

「大まかな構図は考えますがあとは、その時々瞬間を狙います。いわば偶然的なものが多々ありますよ。」

「玉川村内(風景)の作品を撮ってみたいことと、今まで作品を展示して皆さんに見てもらう機会があればいいなと思っています。」



シリーズ「私の宝もの」◎終

岩谷浩光さん(小高)

私の大切な宝ものは、この古ぼけた日記です。この日記は、私の祖父(おじいちゃん)が、明治4年から大正3年までの45年間書き綴ったものです。長い間、よく書き通したものだなあと思います。自分で書くこととしても、いつも挫折してしまっていますから……

祖父は、私が生まれた2ヶ月後(大正5年11月)に亡くなりました。だからこの日記を通して交流できたような気がします。

1年に1冊書き綴ってあり全部で

45冊あります。一部紹介しますと、明治6年6月16日「般若寺跡に小高小学校開校、生徒出席一人も無し」、明治7年7月5日「丑寅の方向にほうき星が現る」、明治38年の大凶作のことなど興味深い出来事が書かれています。文の形式は、江戸時代に近い書き方になっています。

また、この日記は、私が歴史を勉強してきた中で、教本であり指針でもありました。本村の村史を編纂する際にも大いに役立ったことが思い出されます。

東京玉川会コーナー



心に残る 我がふるさと

『楽しかった小学生の頃』

埼玉県与野市 細淵昭子さん
(小高出身・高原木代子さんの義姉)



北海道富良野ラベンダー畑で(主人と私)

故郷を離れて47年余り。想い出は果てしなく、尽きることがありません。何と言っても小学生の頃のことは楽しい思い出ですね。『追い上げ』と言ったと思いますが、家の前の館山で太鼓がドンドン鳴ると、その日は農作業は休みとなります。私たちも近所のハルヨさん、ヒラ子さん達と「弁当持ちやっぺ」なんて言い合って、残りご飯に鰹節をかけた弁当を持って山に登って食べました。暗くなるまで遊んで帰って叱られたり、また真夏の照り付ける日中、阿武隈川まで歩いて行って、男の子も女の子も真っ裸で「母畑石まで競争だ」なんて川の真ん中にある大きな石まで流されながら、バタバタと泳いだことなどが今こうして書きながらも笑いがこみ上げてきます。

昔はみんな貧しく、美味しいものが無くて平気だったのに今は何でも有り余っている。何か満たされない世の中で子供たちも可哀想ですね。昔のことを言っては孫達から「昔お化け」なんて言われましたが、でも今の故郷は、実家に帰る度に変わって私の住む与野市より便利ですよ。お店も沢山あって都会的で大変な発展ぶりですよ。ね。

また、玉川会のお陰で懐かしい人々にお会いできる楽しみが増え、来年も元気で出掛けられるようにと張り合いも出て、本当に感謝しております。それと毎月の広報たまかわを首を長くして待っています。村の出来事や名人、達人がいっぱい驚くばかりです。どうぞ何時までも山や川の美しさと村の発展とそして皆様様の健康を願いながら失礼いたします。